

第137回LC研究懇談会

日 時:1999年11月17日(水) 13時～17時30分

会場:東京理科大学記念講堂(1号館、17階)

[東京都新宿区市谷田町3-21-6、電話:03-3260-4271、交通:JR総武線「飯田橋」駅下車 徒歩4分]

講演主題:毒物、中毒成分の分析法と応用例

講演

1. 講演主題概説 (13:00～13:05)

(日本分光(株))坊之下 雅夫

2. クロマトグラフを利用した中毒起因物質の検索ソフトー医療支援ツールとしての分離分析 (13:05～13:45)

(三菱化学ビーシーエル(株)ドーピング検査室)植木 眞琴

3. 化学性食中毒原因物質のHPLCによる分析 (13:45～14:25)

(東京都立衛生研究所食品研究科 中毒化学)
牛山 博文

4. 東京都監察医務院 薬化学検査の現状ー2～3の事例からー (14:25～15:00)

(東京都監察医務院 検査科)江原 和人

5. 多波長検出器付高速液体クロマトグラフィーを用いた緊急薬毒物分析の現状と問題点ー医薬品急性中毒に関連してー (15:10～15:45)

(日本医科大学法医学教室)林田 真喜子

6. 血中および尿中の薬物・毒物分析へのHPLCの応用ーUVスペクトルライブラリーサーチ機能による迅速スクリーニングとHPLC-ICP-MSによるヒ素化合物の高感度形態分析ー (15:45～16:10)

(横河アナリティカルシステムズ(株))熊谷 浩樹

7. LC-ICP及びLC-AAによるヒ素の形態別分析 (16:10～16:35)

((株)島津製作所分析機器事業部 応用技術部)谷口 理

8. GPCクリーンアップ法の現状と今後の展開 (16:35～17:00)

(昭和電工(株)特殊化学品事業部 ショウデックスグループ)篠田 晶子

9. 毒物・中毒成分の分析法の現状と将来 (17:00～17:30)

(東京理科大学薬学部)中村 洋

参加費(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員:1,000円、分析化学会・共催学会会員:2,000円、その他:3,000円(当日)

受付にてお支払い下さい)、学生は無料。
共催学会等:日本化学会, 日本薬学会

カタログ展示

1小間:5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

懇親会

講演終了後、講演終了後、講師を囲んで立食パーティー形式の懇親会を開催します。会費：
1,000円

申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい(定員をオーバーした場合のみご連絡します。)

申込先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号
(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会
[電話:03-5487-2790、FAX:03-3490-3572]

[LC研究懇談会情報ページへ戻る。](#)